県内業界から見る【設備投資】について

石川県中小企業団体中央会

＜調査対象＞

◎調査期間：令和６年７月下旬～令和６年８月上旬
◎調査対象：当会情報連絡員（業界組合）58 団体

（回答　５２団体　・製 造 業：３１団体中２６団体
・非製造業：２７団体中２５団体）

＜結果のポイント＞

（１）設備投資について

今年度は「ものづくり補助金」や「IT導入補助金」、「中小企業省力化投資補助金」などの設備投資に関する補助金が実施されている。そこで、人手不足等の声が多く聞かれている中、この１年での設備投資の現状（実施状況）を把握するため、業界組合に聞いてみたところ次のとおりであった。

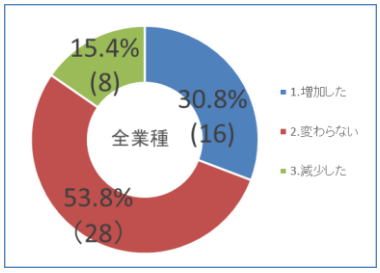
〇全業種では、設備投資を実施した事業者の増減について**「変わらない」が53.8%と最も多く**、「増加した」が30.8%で、「減少した」が15.4%であった。業種別では、**製造業**と**非製造業**の**「増加した」**の割合が**同率であり**、業種間に大きな差は見られなかった。平成３０年に実施した同様の調査では、製造業の「増加した」割合が46.2%、非製造業が4.0%であったことから、非製造業が設備投資に積極的になったことが伺える。設備投資をした目的について見ると、**増産・販売力強化**が最も多く、**合理化・省力化、設備の代替、維持・補修**などが順に多い回答であった。生産性向上や売上高増加するための設備投資が多い一方で、老朽化による更新という現状を維持する目的のものも多かった。来期の設備投資を実施する事業者の増減についても、今期と同様な傾向で、**「変わらない」が 64.0%と最も多く**、「増加する見込み」が 20.0%で、「減少する見込み」が 16.0%であった。業種別では、**製造業**での**「増加する見込み」**の割合が 16.0%、**非製造業**では 24.0%であり、来期においては非製造業の方が積極的な設備投資を実施する可能性が伺える。

（２）業種別詳細

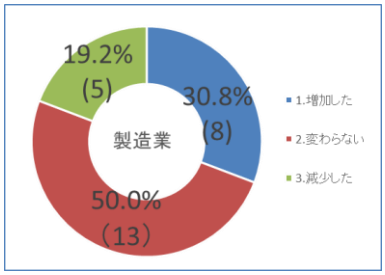
〇製造業において「増加した」と回答したのは**織物業、一般機械器具製造業、繊維機械製造業**などであった。生産性向上や人手不足に対応するための**合理化・省力化**や**設備の代替**を目的としているようであった。
〇非製造業においては、「増加した」と回答したのは**商店街、旅館、ホテル業、一般貨物運送業**などであった。**増産・販売力強化**を目的とした回答が多く、震災の影響による**設備の代替、維持・補修**の声も聞かれた。

①この１年（令和5年４月～令和6年３月）で設備投資を実施した事業者の増減について

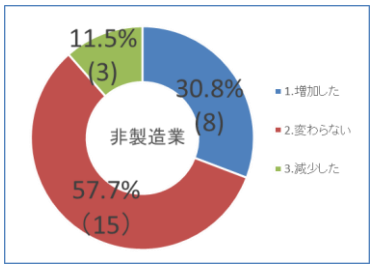
全業種



製造業

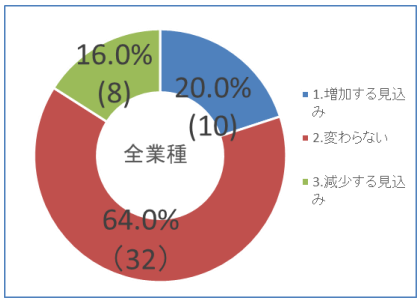


非製造業

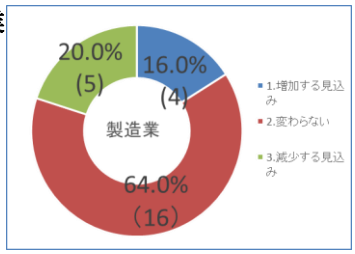


②今後１年（令和6年４月～令和7年３月）で設備投資を実施する事業者の増減

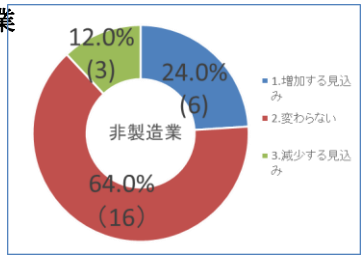
全業種



製造業



非製造業



設備投資の内容・目的（複数回答）

1.増産・販売力強化	9	56.3%
2.合理化・省力化	8	50.0%
3.設備の代替	7	43.8%
4.維持・補修	6	37.5%
5.倉庫等物流関係	1	6.3%
6.IT・情報化関連	5	31.3%
7.その他	1	6.3%